

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成
-----	----------------------

施策主管課	地域政策室	総合計画記載頁	149ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	21 機能的で魅力ある都市空間を形成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市内の地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。
------	----------------------------------	----------------	----------------------	---------------------	---

2 施策の取組状況

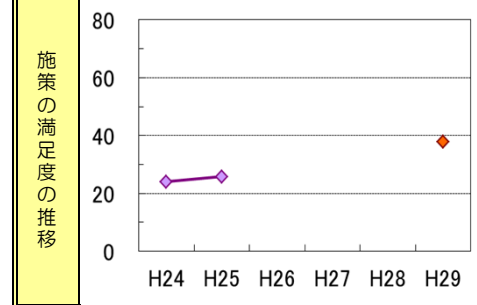
施策目標	地域特性に応じた都市機能が集積された魅力ある拠点が形成されます。
------	----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	人口集中地区(DID)人口(人)	単年度目標値	384,583	384,583	384,583	392,000	392,000			392,000	-	-	調査結果	24.0%	25.8%					
実績値			-	-																	
現状値		384,583人									目標値(H29)			37.7%							
目標値(H29)		392,000人	単年度の達成度	-	-						前年度からの増減			+1.8%							
指標2	都市拠点(市内中心部)の通行量(平日)(人)	単年度目標値	105,000	106,000	107,000	108,000	109,000	110,000	A	-	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
		実績値	103,880	99,428																	
	現状値	106,000人																			
	目標値(H29)	110,000人	単年度の達成度	98.0%	93.8%																
指標3	人口集中地区(DID)人口密度	単年度目標値							-	-	中核市平均	6115.4	6214.4								
		実績値	5414.4	5414.4																	
	現状値																				
	目標値(H29)																				

【参考】中核市等との水準比較

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・国においては、都市機能誘導区域内の施設立地支援など、都市再生に向けたコンパクトなまちづくりの支援方策等の検討が進んでいる。			市民満足度	・空き店舗対策など、商業の活性化に向けた店舗の戦略的な取組等が実施されているものの、市民満足度は横ばいの状況である。	総合評価	83点
施策指標	・本市のDID地区人口に係る数値は、国勢調査結果を用いており、H25年度の実績値を把握することができない状況にある。 ・都市拠点の通行量については、商業機能の衰退や事業所数の減少等により、減少傾向にある。						概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業 ※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	中心市街地活性化の推進	○★		市民, 来街者	「中心市街地活性化基本計画」に基づく各事業の推進	計画どおり	8,300	H21		ネットワーク型コンパクトシティの中核として、本市全体の発展を牽引する都市拠点の形成、及び「本市の顔」にふさわしい活力と魅力ある中心市街地の形成を図る。現基本計画は、平成26年度が最終年度となることから、目標値の達成に向け、関係課との連携強化に努めながら、各種事業を効果的に実施していく。また、平成25年度に実施した基礎調査や国の施策の動向を踏まえ、中心市街地活性化協議会を通じた民間事業者等と十分な意見交換を行いながら、適切な役割分担と連携のもと、効果的な施策事業について検討し、次期基本計画(平成27年度～31年度)を策定していく。
2	宇都宮駅東口地区整備事業	○★	宇都宮駅東口地区整備の推進	市民, 来訪者	立地施設の整備・促進	計画どおり	6,256	H16		都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。対話型市場調査やLRTなど関連事業の検討状況などを踏まえ、まちづくりの基本的な考え方や導入すべき機能など地区の整備方針を作成するとともに、事業者募集等の事業化を推進する。
3	雀宮駅東地区整備の推進		雀宮駅周辺地区整備の推進	関係権利者及び市民	道路整備(市道713号線)	計画どおり	141,400	H18		市南部地域の地域交流拠点として、都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。本年度は、用地買収が完了したため、市道713号線の平成26年度内完成を目指す。
4	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	○★	宇都宮駅西口周辺地区整備の推進	市民及び権利者等	地元のまちづくり活動支援	計画どおり	5,943	H19		都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。次年度は、「基本計画」の策定に向けた交通基盤施設の検討や、地元まちづくり活動の継続的な支援を行うなど、引き続き地区整備の推進に取り組む。
5	市街地再開発事業の推進	○★	市街地再開発事業の推進	市民及び権利者等	再開発準備組合へのコンサルタント派遣	計画どおり	6,239	S57	トップクラス	中心市街地における居住環境の創出や、商業・業務などの高次な都市機能が集積する魅力ある拠点の形成を図る。次年度は、早期の事業化が図れるよう、引き続き、地元組織の支援・指導を行うとともに、関係権利者の合意形成を図る。
6	大手地区市街地再開発事業	○★	市街地再開発事業の推進	宇都宮大手地区市街地再開発準備組合	補助金支出 技術的援助	計画どおり	78,000	H25		中心市街地における安全・安心で快適な市街地の形成や都心居住を推進し、魅力ある拠点の形成を図る。次年度は、着実な事業推進のため、工事費高騰等の社会経済情勢を踏まえ事業計画を精査するとともに、権利変換計画認可に向けた権利者の合意形成を円滑に図れるよう、地元組織を支援・指導していく。
7	岡本駅周辺整備事業	○	岡本駅周辺地域整備の推進	岡本駅周辺	岡本駅橋上駅舎や駅前広場の整備事業の推進	計画どおり	67,908	H21		北東部地域の地域拠点として、交通結節機能の強化及び交通アクセスの向上などを図る。次年度は、岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関等との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出に向け、施設整備を進める。
8	宇都宮まちづくり推進機構補助金			宇都宮まちづくり推進機構	中心市街地活性化に向けた事業の実施・調整	計画どおり	18,038	H11		「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく中心市街地整備機構であるまちづくり推進機構を支援することにより、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成に資する事業を実施する。次年度は、引き続き、まちづくり推進機構で実施する旧公益質屋(大谷石蔵)活用事業や釜川プロムナード整備事業等の継続的な実施や自立化に向けて新規会員の確保や新たな収益事業の検討などについて、支援していく。
9	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金		テクノポリスセンター地区の施設立地の促進	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会	事業推進のためのPR活動	計画どおり	200	H6		ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、テクノポリスセンター地区について、高度な産業・研究開発機能と生活空間が調和した東部地区の拠点としてのまちづくりを推進する。次年度は、引き続き、研究施設や住宅などの立地促進に向け、各種イベントへの出展など販売促進活動に取り組む。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆地域特性を生かした魅力ある拠点の形成にあたっては、それぞれの拠点に集積する都市機能や土地利用等、具体的な推進方を明確にするるとともに、各地域の社会的特性等を踏まえ、関係者が連携・協力しながら取り組んでいく必要がある。</p> <p>◆拠点形成に向けた事業の推進にあたっては、関係機関とのさらなる連携や、関係権利者の合意形成等を図るとともに、市税収入の急速な回復が見込めないなど、各事業の財源確保が厳しくなることを踏まえ、効果的・戦略的に取り組んでいく必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆まちづくりの方向性を示す「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を策定するとともに、市民・事業者・行政において、この「形成ビジョン」の共有・連携を図りながら魅力ある拠点形成に向けた施策・事業に取り組む。</p> <p>〈主要事業〉 ◆中心市街地活性化の推進: 現基本計画は、平成26年度に終了することから、次期基本計画(平成27年度～31年度)の策定に向け、平成25年度に行った基礎調査や国の施策の動向を踏まえ、中心市街地活性化協議会を通じた民間事業者等と十分な意見交換を行いながら、適切な役割分担と連携のもと、効果的な施策事業について検討し、計画を策定していく。 ◆JR宇都宮駅周辺地区整備の推進: 社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、LRTなど関連事業との整合を図りながら、事業化を推進し、都市拠点の形成を図る。 ◆市街地再開発事業の推進(宇都宮大手地区等): 今後の社会経済情勢を踏まえ事業計画を精査し、早期の事業化が図れるよう、地元組織に対する適切な支援・指導を行い、権利者の合意形成を図る。 ◆岡本駅周辺整備事業: 岡本駅西口土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本など関係機関との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上や居住環境の充実、良好な駅前景観の創出などを図り、北東部地域の地域拠点の形成を進める。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>